

基本理念 産業や生活を支え、共に創り、つなぐ”小名浜港”

【1 小名浜港長期構想について】

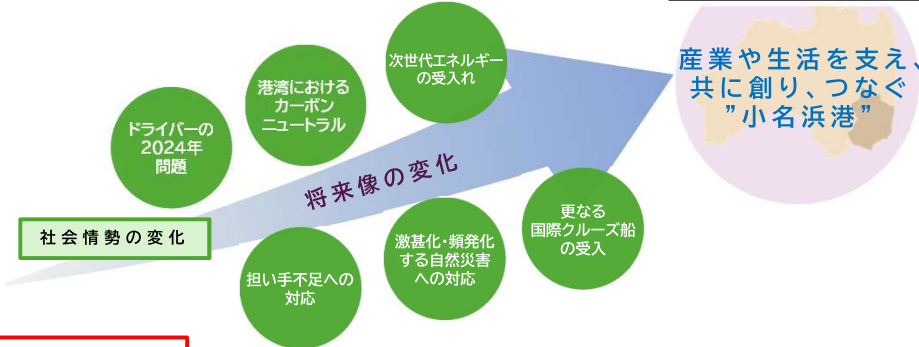
【長期構想策定の背景】

小名浜港の整備は平成29年3月に改訂された港湾計画に基づき進めていますが、港湾をとりまく情勢は目まぐるしく変化しており、新たな要請や課題が顕在化していることから、概ね20～30年先の港湾空間のあるべき姿を実現することを目標とし長期構想を策定しました。

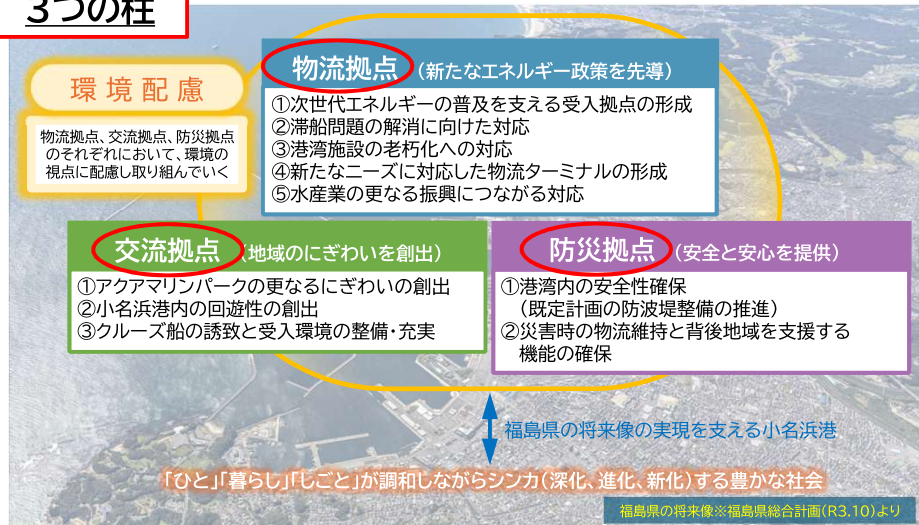
【2 小名浜港の目指すべき方向性(将来像)】

新たな長期構想の基本理念

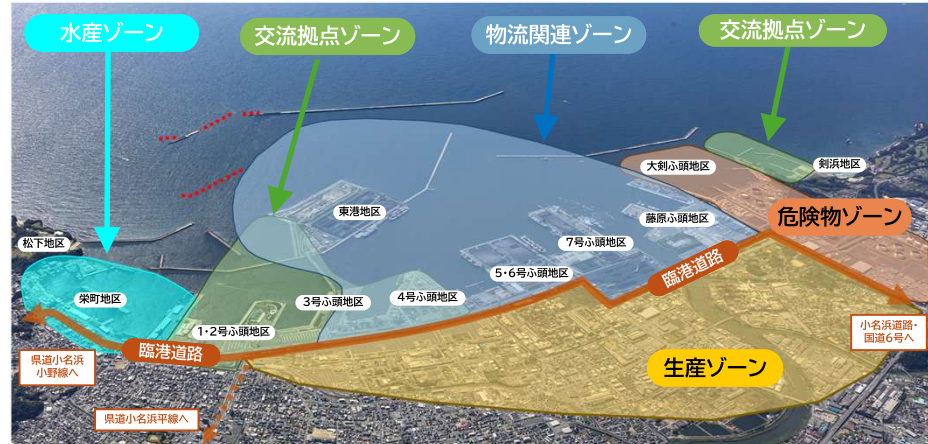
産業や生活を支え、
共に創り、つなぐ
”小名浜港”



3つの柱



【3 港湾利用ゾーニング】



【4 長期構想実現に向けた取組】

物流拠点(新たなエネルギー政策を先導)

- ① ○脱炭素に配慮した荷役機械の整備 ○再生可能エネルギー関連貨物の係留施設・野積場等の整備
○水素、アンモニア等の新エネルギー関連貨物の係留施設や貯蔵施設の整備 など
- ② ○大型船に対応した岸壁の整備 など
- ③ ○老朽化した岸壁の計画的な維持・補修 ○環境負荷の少ない脱炭素に配慮した荷役機械の導入 など
○岸壁の改良(水深深化)やふ頭用地の拡幅に関する検討
- ④ ○サーキュラーエコノミー関連貨物に対応した港湾機能の強化
○コンテナ荷役機械の自動化に向けた検討や高い生産性を有する持続可能なターミナルを形成 など
- ⑤ ○防波堤の撤去や三崎航路の拡幅等を推進 など

交流拠点(地域のにぎわいを創出)

- ① ○集客力向上や安全確保のために、既存施設の更新 など
- ② ○いわきサマリーナの再整備を推進 ○イベントや交通機能の拡充 など
- ③ ○クルーズ船の一層の誘致に向けたボートセールスの推進
○大型のクルーズ船も受入可能なクルーズターミナルの検討 など

防災拠点(安全と安心を提供)

- ① ○外郭施設の整備推進 ○定期的な浚渫工事による水深の確保 など
○コンテナターミナルにおける耐震強化岸壁を整備
- ② ○災害時の他港との連携に向けた港湾機能の充実
○津波避難時の施設を整備、津波避難ルート等の体制確保 など

【5 主要な取組(抜粋)】

物流拠点(新たなエネルギー政策を先導)

- ・水素、アンモニア等の新エネルギー関連貨物やCCUS関連貨物受入への対応、建設発生土の有効活用(東港地区)



- ・コンテナ輸送船の大型化やコンテナ貨物量増加への対応(大剣地区、藤原ふ頭地区)



交流拠点(地域のにぎわいを創出)

- ・クルーズ船の一層の誘致と受入体制の充実および環境整備



防災拠点(安全と安心を提供)

- ・航行船舶の安全性確保
- ・荷役作業時の安全性確保

